

授業科目名 ( 英文名 )	中小企業政策論 ( 経営学部・専門科目 ) ( Studies of Small Business Policies )	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	
担当教員	梅村 仁	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>&lt; 目的 &gt;          中小企業の活性化は、多くの国で重要な政策課題のひとつとして認識されている。本講義では、日本の中小企業政策の意義を明らかにした上で、日本における中小企業政策の現状、課題、今後の展開について説明するとともに、中小企業の展開をケーススタディし、これからの中小企業政策はどうあるべきかについて、講義する。</p> <p>&lt; 到達目標 &gt;          1 中小企業の存在とその意義を確認する          2 中小企業政策と地域経済との関わりを理解する</p>		
講義内容・授業計画	<p>[講義内容]          日本の経済・産業における中小企業の位置づけおよび、中小企業振興のための政策とは何か、その意義、仕組み等について詳しく解説する。</p> <p>[講義計画]          1 . 中小企業政策論のガイダンス          2 . 中小企業政策とは何か          3 . 中小企業政策の展開 ( 1 ) 戦後の中小企業          4 . 中小企業政策の展開 ( 2 ) 大企業と中小企業          5 . 中小企業政策の展開 ( 3 ) 中小企業基本法          6 . 中小企業政策の展開 ( 4 ) 高度経済成長と中小企業          7 . 中小企業政策の展開 ( 5 ) 新中小企業基本法と新たな政策展開          8 . 中小企業政策の実際 ( 1 ) 産業集積          9 . 中小企業政策の実際 ( 2 ) 住工混在問題          10 . 中小企業政策の実際 ( 3 ) 地場産業          11 . 中小企業政策の実際 ( 4 ) 自治体政策 公的研究機関          12 . 中小企業政策の実際 ( 5 ) 自治体政策 企業誘致          13 . 英国の政策 ( 1 ) 政策の概要          14 . 英国の政策 ( 2 ) 地域開発と中小企業          15 . まとめ          16 . 評価 ( 到達度の確認 )</p>		
テキスト	特に指定しません。		
参考文献	植田浩史他著『新版中小企業・ベンチャー企業論』有斐閣、2014年 梅村仁著『自治体産業政策の新展開』ミネルヴァ書房、2019年		
成績評価の基準・方法	中小企業政策の意義 ( 重要性 ) とその役割 ( 目的 ) についてどの程度理解したかを期末テスト ( 約70% ) 、小テスト ( 約30% ) で評価する。		
履修上の注意・履修要件	日頃から企業に関する報道 ( TV、新聞など ) に耳を傾けてください。		
実践的教育	担当教員は地方公共団体 ( 尼崎市 ) において産業振興や産業立地などの政策を担当した実務経験があり、その経験を活かした授業を行う。		

